

作成日 2025 年 4 月 24 日  
(最終更新日 20 年 月 日)

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

**課題名：**遊離組織移植後モニタリングの実態解明

### 1. 研究の対象

2020 年 4 月～2026 年 3 月に当院で遊離組織移植の治療を受けられた方

### 2. 研究期間

研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日

### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2025 年 8 月 1 日

### 4. 研究目的

血管吻合を伴う遊離組織移植術が一般化され、これまで治療困難であった組織欠損の治療が可能となっています。顕微鏡技術の発達により血管吻合の精度が向上している一方、一定の確率で血栓や閉塞が発生する可能性があります。皮弁壊死合併症を防ぐためには血栓や閉塞による血流不全を早期に発見することが重要ですが、血流のモニタリング方法は多岐にわたり、依然議論されている状態です。

当科では遊離組織術後患者に対して患者背景、術式、欠損部位、術後病棟の種類、術後日数に合わせてモニタリング方法を選択し治療を行っております。その中でモニタリング方法の選択と精度、治療後経過には一定の傾向があると考えます。

本研究では遊離組織術後患者の分類と治療経過について検討し、モニタリング方法の実態を明らかにすることを目的としております。

### 5. 研究方法

患者さんの診療録、臨床写真を用いて6の項目について後ろ向きに調査し、収集した情報の解析を行い、手術手技の実態について検討します。新たに追加検査を行うことはありません。なお、診療情報はすべて個人が特定できないように、外科関連学会協議会の「症例報告を含む医学論文 及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」に準じて匿名化します。

### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者年齢、術式、欠損部位、皮弁種類、術後病棟の種類、術後観察期間、後遺症、治療後評価（機能、整容）等

## 7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

## 8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

該当なし

## 9. 研究組織

本学単独研究

## 10. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は運営費交付金です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

## 11. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

## 12. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学附属病院形成外科 大島純弥

住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1

連絡先：電話・FAX：029-895-3122（平日 9-17 時）

メール：ooshima-tuk@umin.ac.jp

当院の研究責任者：筑波大学附属病院形成外科 大島純弥